学校番号	３０２

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の公共　（帝国出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「自分」とは何か、「公共」とは何かを授業を通して考えよう。
・公共的な空間で求められる態度や姿勢を身につけよう。
・社会生活を送るうえで必要な現代社会の知識を獲得し、これからの社会を生きる自分たちの態度を考えてみよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
政治や経済についての基礎的な知識を獲得し、自身の社会生活との関わりを理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
公共的な空間について理解し、その場における適切な言動を考察し、態度に表すことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の諸課題について広い視野から考察し、主体的に捉えることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会の政治、経済、法など基礎的な知識を獲得し、集団社会で生きるにふさわしい自身のあり方を獲得している。	集団社会で生きるにふさわしい言動を考察し、選択している。現代社会の諸課題について広い視野から捉えることができ、自身の考えを適切に表現することができる。	自身が参画する社会に対する関心と自覚を高め、意欲的に自己成長に努める態度が見られる。 公共的な空間であることを踏まえた上で、積極的に授業に参加する姿勢が見られる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	社会の中の自分と生き方	・公共とはなにか ・自分とはどんな存在か ・様々な考え方や生き方 ・法の果たす役割と意義	a：社会における法の果たす役割を理解し、公共的な空間において適切な自身の言動を選択できる。 b：自身を客観的に捉え、公共的な空間において適切な言動を考察し、表現できる。 c：社会への関心を高め、主体性を持って題材に取り組む姿勢が見られる。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・ワークシート	・授業プリント ・ワークシート
	現代の日本社会の政治・経済	・現代の日本社会の成り立ち ・民主主義と人権 ・現代日本の政治 ・現代の日本経済	a：現代社会の政治・経済・法の基礎的な仕組みや役割を理解できる。 b：現代社会を、その構築に至る経緯をふまえた上で捉えることができ、その意義を思考し、表現することができる。 c：現代社会に関心を持ち、自身の人生に生かそうとする意欲が見られる。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・ワークシート	・授業プリント ・ワークシート
3学期	現代社会の諸課題と解決に向けて	・現代社会の諸課題 ・持続可能な社会の実現に向けて	a：現代社会の諸課題について、原因と現状、取り組みなどを理解できる。 b：現代社会の諸課題について、広い視野から考察し、自身の考えを適切に表現することができる。 c：現代社会の諸課題について関心を持ち、自分事として捉えようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・ワークシート	・授業プリント ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度